

( 3 枚中 1 枚)

受験番号

氏名

北九州工業高等専門学校  
令和8年度 編入学者選抜試験 解答例  
共通科目 (数 学)

科目合計点	得点小計

1

問1

$$\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{2}$$

問2

(1)

$$k = -\frac{17}{5}$$

(2)

$$l = \frac{1}{2}$$

問3

$$\sin 2\theta = -\frac{6}{7}$$

$$\cos 2\theta = -\frac{\sqrt{13}}{7}$$

問4

$$\frac{7}{2} < x < 5$$

( 3 枚中 2 枚)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

北九州工業高等専門学校  
令和8年度 編入学者選抜試験 解答例  
共通科目 (数 学)

得点小計

2

問1 接線が  $y = 3x$  のとき接点は  $(0, 0)$ 、接線が  $y = -x + 4$  のとき接点は  $(2, 2)$

問2

$$\frac{2}{3}$$

( 3 枚中 3 枚)

受験番号

氏名

北九州工業高等専門学校  
令和8年度 編入学者選抜試験 解答例  
共通科目 (数 学)

得点小計

3

問1

数学的帰納法で証明する。

(i)  $n = 1$  のとき  $a_1 = a$ ,  $0 \leq a \leq 1$  より  $0 \leq a_1 \leq 1$  が成り立つ。

(ii)  $n = k$  のとき  $0 \leq a_k \leq 1$  が成り立つと仮定する。まず  $b > 1$  と帰納法の仮定より

$$a_{k+1} = -\frac{a_k^2 - b}{2} \geq -\frac{1 - b}{2} > 0$$

さらに  $b < 2$  と帰納法の仮定より

$$a_{k+1} = -\frac{a_k^2 - b}{2} \leq -\frac{0 - b}{2} < 1$$

したがって  $n = k$  のとき  $0 \leq a_k \leq 1$  が成り立つと仮定すると  $0 \leq a_{k+1} \leq 1$  が成り立つ。

(i), (ii) より  $n = 1, 2, 3, \dots$  に対して  $0 \leq a_n \leq 1$  が成り立つ。

問2

$c = -1 + \sqrt{1+b}$  を  $b$  について解くと  $b = c^2 + 2c$  であるから

$$a_{n+1} - c = -\frac{a_n^2 - (c^2 + 2c)}{2} - c = -\frac{a_n^2 - c^2}{2} = -\frac{1}{2}(a_n + c)(a_n - c)$$

問3

問2で証明した等式の両辺で絶対値をとり三角不等式を用いると

$$|a_{n+1} - c| = \left| -\frac{1}{2}(a_n + c)(a_n - c) \right| \leq \frac{|a_n| + |c|}{2} \cdot |a_n - c|$$

問1の結果より  $|a_n| \leq 1$  である。さらに  $b > 1$  より  $c = -1 + \sqrt{1+b} > -1 + \sqrt{2} > 0$  であるから  $|c| = c$  である。よって  $b < 2$  より

$$\frac{|a_n| + |c|}{2} \leq \frac{1 + (-1 + \sqrt{1+b})}{2} < \frac{\sqrt{3}}{2}$$

したがって  $\frac{\sqrt{3}}{2} < 1$  より

$$\lim_{n \rightarrow \infty} |a_n - c| \leq \lim_{n \rightarrow \infty} \left( \frac{\sqrt{3}}{2} \right)^{n-1} |a_1 - c| = \lim_{n \rightarrow \infty} \left( \frac{\sqrt{3}}{2} \right)^{n-1} |a - c| = 0$$

よって  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = c$  が成り立つ。